

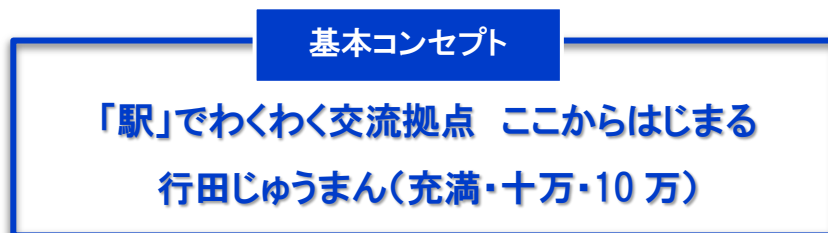
## 第4章 対象地区のまちづくりに向けた方針

### 1. まちづくりの基本方針

対象地区のまちづくりの課題を踏まえ、5つの視点を考慮したまちづくりの基本方針として、基本コンセプトを設定します。

このコンセプトは、JR行田駅周辺をにぎわいあふれる交流拠点として機能強化を図るとともに、本市の南の玄関口として、忍藩「十万石」の都市として栄えた歴史と文化の街である行田市を周遊し、「満足（充満）」してもらうことにより、本市の掲げる基本政策である交流人口「10万人」を実現していく願いが込められています。

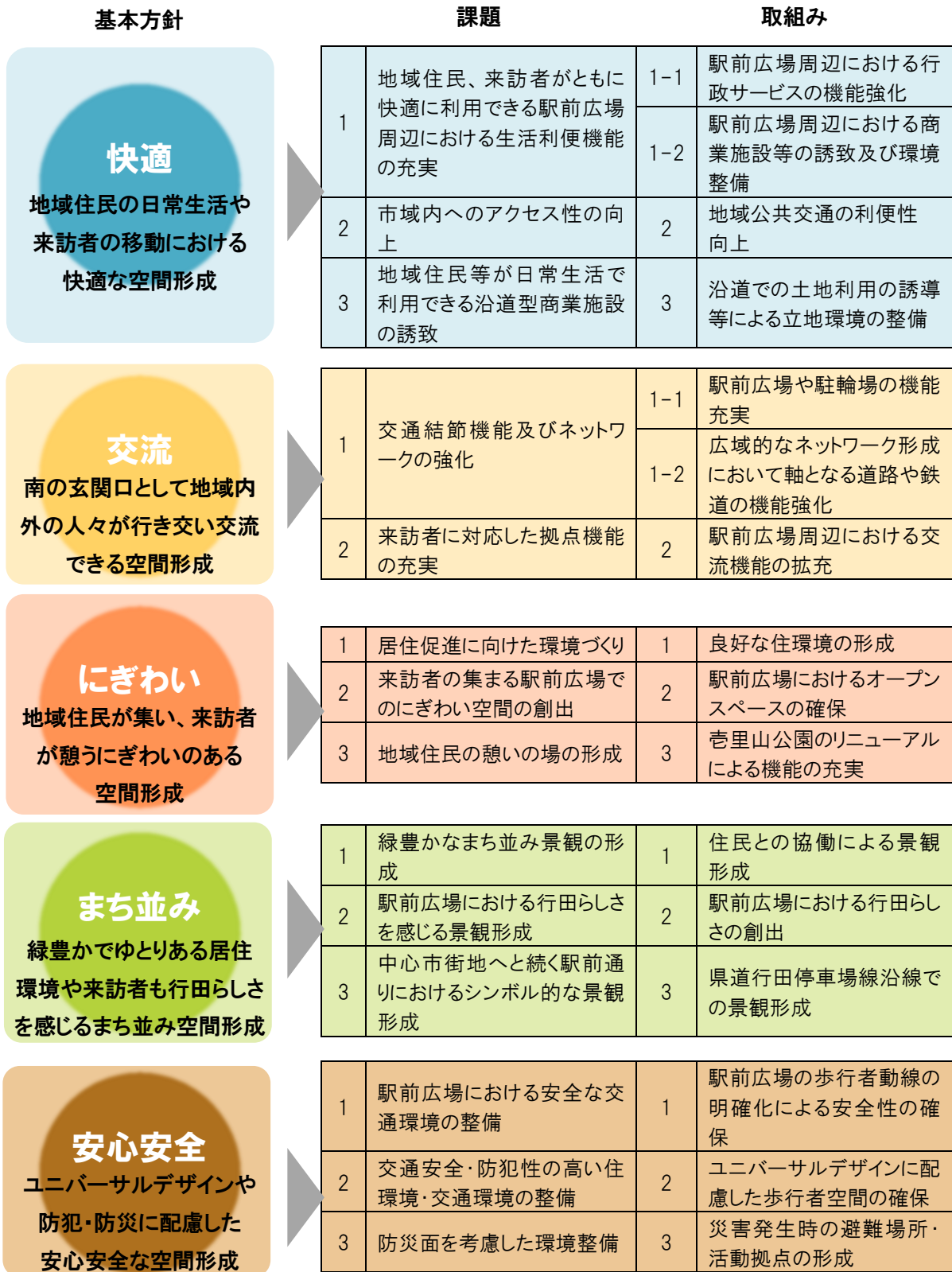
また、JR行田駅周辺を旅の「はじまる」玄関口としてのまちづくりを行うとともに、駅の利用者、地域住民及び地元企業等と、行政とが連携した、新たなまちづくりをこの対象地区から「はじめる」ことを宣言する意味が込められています。



「快適」、「交流」、「にぎわい」、「まち並み」、「安全安心」の5つの要素それぞれが結びつき、バランスの取れた空間形成を行うことで、対象地区の交流拠点としての機能を高めていきます。

要素	基本方針
快適	地域住民の日常生活や来訪者の移動における快適な空間形成
交流	南の玄関口として地域内外の人々が行き交い交流できる空間形成
にぎわい	地域住民が集い、来訪者が憩うにぎわいのある空間形成
まち並み	緑豊かでゆとりある居住環境や来訪者も行田らしさを感じるまち並み空間形成
安心・安全	ユニバーサルデザインや防犯・防災に配慮した安心安全な空間形成





※横断的な課題・取組みについては、代表的な分野に記載

図 課題と基本方針の体系

## ① 快適な空間形成における方針

基本方針	課題	取組み
	1	地域住民、来訪者がともに快適に利用できる駅前広場周辺における生活利便機能の充実
	2	市域内へのアクセス性の向上
	3	地域住民等が日常生活で利用できる沿道型商業施設の誘致
	1-1	駅前広場周辺における行政サービスの機能強化
	1-2	駅前広場周辺における商業施設等の誘致及び環境整備
	2	地域公共交通の利便性向上
	3	沿道での土地利用の誘導等による立地環境の整備

### 取組み 1-1 : 駅前広場周辺における行政サービスの機能強化

現在、観光案内所には住民票申請受付ボックスが設置されていますが、年間利用件数は数件程度と少ない状況にあり、より多くの人に利用できる行政サービスへの改善に向け、地域住民のコミュニティ機能や子育て支援機能等の機能強化を行い、利便性向上を図ります。

### 取組み 1-2 : 駅前広場周辺における商業施設等の誘致及び環境整備

JR行田駅の利便性を更に活かすため、駅周辺の市有地や、駐車場・空き地といった低・未利用地において、商業・金融施設等の日常生活施設を誘導するための環境づくりを行い、日常生活での利便性向上を図ります。

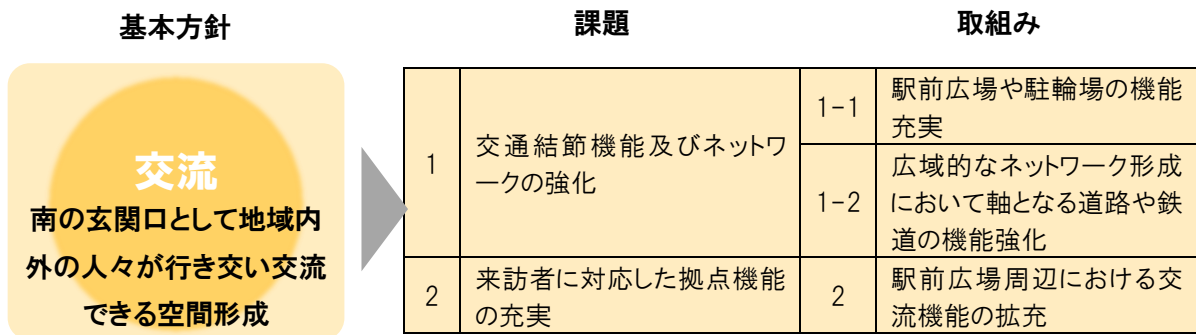
### 取組み 2 : 地域公共交通の利便性向上

JR行田駅と中心市街地を結ぶ市内循環バスや、JR行田駅で待機するタクシー等について、交通事業者と連携を図りながら、JR行田駅の利用者ニーズを踏まえた運行形態の見直し等を行い、JR行田駅から目的地までの移動における利便性の向上を図ります。

### 取組み 3 : 沿道での土地利用の誘導等による立地環境の整備

JR行田駅と中心市街地を結ぶ県道行田停車場線や、JR行田駅と鴻巣市の土地区画整備事業が行われている北新宿地区とを結ぶ駅前広場前面の市道では、地区計画等による商業施設等の誘致に向けた立地環境の整備を行い、地域の活性化や利便性の向上を図ります。

② 交流空間形成における方針



**取組み 1-1 : 駅前広場や駐輪場の機能充実**

現在の駅前広場では、歩行者が車道を横断するなどの危険性や、送迎車両の混雑等が問題となっているため、交通処理をスムーズに行うための再整備により、利便性の向上を図ります。

また、市営駐輪場では有料化も視野に入れた屋根付もしくは屋内型の駐輪場整備を行うなど、JR行田駅利用者にとって更なる利便性の向上を図ります。

**取組み 1-2 : 広域的なネットワーク形成において軸となる道路や鉄道の機能強化**

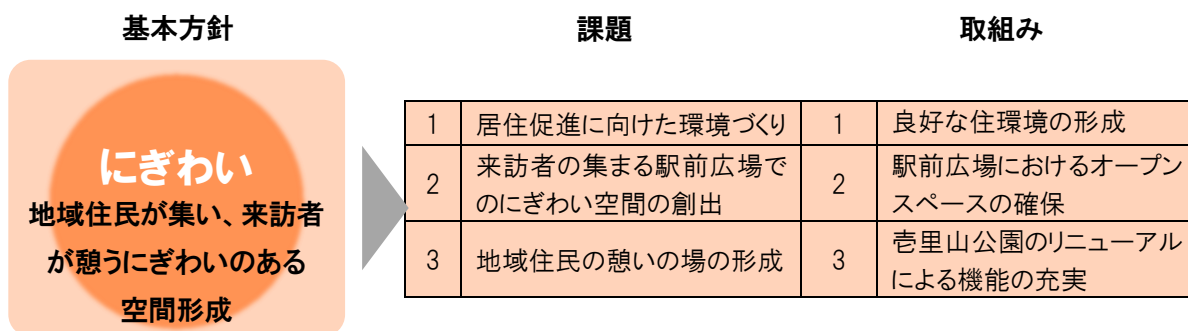
近隣する熊谷市や鴻巣市からJR行田駅を利用する人の利便性を考慮し、近隣市間を結ぶ広域的な幹線道路の機能強化を図ります。

また、JR行田駅を利用する通勤・通学者や観光来訪者の利便性を考慮し、鉄道事業者と連携した、輸送力の増強に取り組めます。

**取組み 2 : 駅前広場周辺における交流機能の充実**

観光案内所は、観光施設情報や観光案内地図等の情報充実に加え、休憩施設や物産販売スペース等の機能充実を図ることにより、より多くの来訪者が利用できる交流施設への改善を図ります。

③ にぎわいのある空間形成における方針



**取組み 1 : 良好な住環境の形成**

対象地区での人口の維持・増加による地域コミュニティの活性化や、住宅用地における駐車場や空き地等の低・未利用地の活用に寄与するよう、地区計画等を活用し、良好な住環境の形成を図ります。

**取組み 2 : 駅前広場におけるオープンスペースの確保**

多くの来訪者が集まる駅前広場において、地域住民と観光客等の来訪者が一緒になって、にぎわいを創出できるよう、イベント等を開催できるオープンスペースを整備します。

**取組み 3 : 壱里山公園のリニューアルによる機能の充実**

壱里山公園は利用者が少なく、遊具や緑の充実を求める声もあることから、よりの多くの地域住民が利用したくなる公園となるよう機能強化を図ります。

第1章  
はじめに

第2章  
対象地区の概況

第3章  
対象地区のまち  
づくりに向ける課題

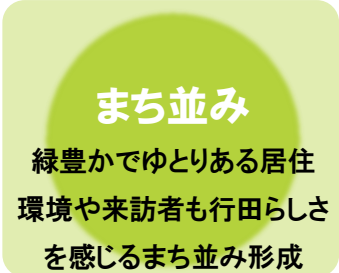
第4章  
対象地区のまち  
づくりに向けた方針

第5章  
JR行田駅前広場  
周辺再整備計画

第6章  
事業推進に向けて

参考資料

④ まち並み空間形成における方針

基本方針	課題	取組み
 <p><b>まち並み</b> 緑豊かでゆとりある居住環境や来訪者も行田らしさを感じるまち並み形成</p>	1 緑豊かなまち並み景観の形成	1 住民との協働による景観形成
	2 駅前広場における行田らしさを感じる景観形成	2 駅前広場における行田らしさの創出
	3 中心市街地へと続く駅前通りにおけるシンボリックな景観形成	3 県道行田停車場線沿線での景観形成

**取組み 1 : 住民との協働による景観形成**

緑豊かでゆとりある住環境をつくるため、地域住民との協働により、地区計画等を活用した生け垣の設置や敷地内緑化を促進するとともに、維持・管理を行うための仕組みづくりを行います。

また、工業地の周辺環境との調和を図るための緩衝緑地を整備し、緑豊かな住環境を創出します。

**取組み 2 : 駅前広場における行田らしさの創出**

市民や来訪者が、行田の歴史や文化を感じることができるよう、駅前広場や周辺施設におけるモニュメントの設置や舗装、外壁などの修景を行い、市の南の玄関口にふさわしい空間を創出します。

**取組み 3 : 県道行田停車場線沿線での景観形成**

県道行田停車場線について、JR 行田駅と行田中心市街地を結ぶシンボル通りとして、沿道への植栽や植樹等の緑化などにより、多くの人に親しまれる景観形成を行います。

⑤ 安心・安全な空間形成における方針

基本方針

**安心安全**  
ユニバーサルデザインや  
防犯・防災に配慮した  
安心安全な空間形成

課題

課題	取組み
1 駅前広場における安全な交通環境の整備	1 駅前広場の歩行者動線の明確化による安全性の確保
2 交通安全・防犯性の高い住環境・交通環境の整備	2 ユニバーサルデザインに配慮した歩行者空間の確保
3 防災面を考慮した環境整備	3 災害発生時の避難場所・活動拠点の形成

取組み

**取組み 1 : 駅前広場の歩行者動線の明確化による安全性の確保**

駅前広場内での歩行者の通行における安全性の確保や、送迎利用の多い時間帯における混雑を解消するなど、歩行者、車両ともに安全性を確保できる動線の明確化を図ります。

**取組み 2 : ユニバーサルデザインに配慮した歩行者空間の確保**

地域住民や JR 行田駅利用者が利用する地区内道路について、連続的な歩道の確保や一方通行化、カラー舗装の整備等による誰もが利用しやすい歩行者空間の確保を行うとともに、道路照明灯等の設置による防犯に配慮した道路の整備を行います。

**取組み 3 : 災害発生時の避難場所・活動拠点の形成**

荒川氾濫時や地震発生時に一時的な避難が可能となる施設を整備するとともに、駅前広場の再整備に合わせ、災害発生時の活動拠点となるようなオープンスペースを確保します。

第1章  
はじめに

第2章  
対象地区の概況

第3章  
対象地区のまち  
づくりに関する課題

第4章  
対象地区のまち  
づくりに向けた方針

第5章  
JR 行田駅前広場  
周辺再整備計画

第6章  
事業推進に向けて

参考資料

## 2. 機能配置構想

対象地区が抱える課題解決に向けた取り組みでは、様々な人の活動拠点となっている「JR行田駅を核とした地区拠点」を形成し、日常生活において必要な機能や交通結節点としての機能を強化・集約します。

また、「地区拠点と相乗効果を発揮するようなまちづくり」として、周辺の住環境を整備するとともに、中心市街地や近隣市から地区拠点までのアクセス性向上に向けた取り組みを行います。

### ① JR行田駅を核とした地区拠点の形成

#### 《複合施設の整備による機能の集約》

JR行田駅前には行政サービス（住民票交付サービス、子育て支援施設、コミュニティ施設等）や商業施設等、多くの機能が集約され、地域住民や来訪者等、様々な人が利用しやすい複合施設として整備を推進します。

##### 《取組み内容》

快適

- ・駅前広場周辺における行政サービスの機能強化（取組み1-1）
- ・駅前広場周辺における商業施設等の誘致及び環境整備（取組み1-2）

安心安全

- ・災害発生時の避難場所の形成（コミュニティ施設等と併用）（取組み3）

#### 《駅前広場及び関連施設の再整備による交通結節点としての機能強化》

JR行田駅を利用者する歩行者や自動車が安全に利用できる駅前広場の整備や、市営駐輪場や観光案内所の機能強化による利便性の向上に加え、市民や来訪者が行田らしさを感じられるような整備を推進します。

##### 《取組み内容》

交流

- ・駅前広場や駐輪場の機能充実（取組み1-1）
- ・駅前広場周辺における交流機能の拡充（取組み2）

まち並み

- ・駅前広場における行田らしさの創出（取組み2）

にぎわい

- ・駅前広場におけるオープンスペースの確保（取組み2）

安心安全

- ・駅前広場の歩行者動線の明確化による安全性の確保（取組み1）
- ・災害発生時の活動拠点の形成（オープンスペース等と併用）（取組み3）



## ② 地区拠点と相乗効果を発揮するまちづくり

### 《周辺地域の住環境の整備によるコミュニティの活性化》

駐車場や空き地等の低・未利用者を活用した日常生活施設の誘導に向けた環境づくりや、緑豊かなゆとりあるまち並みの創出により、多くの人々が住みたくくなるような住環境を整備し、地域コミュニティの活性化を図ります。

#### 《取組み内容》

快適

・沿道での土地利用の誘導による立地環境の整備(取組み3)

まち並み

・住民との協働による景観形成(取組み1)

にぎわい

・良好な住環境の形成(取組み1)  
・壱里山公園のリニューアルによる機能の充実(取組み3)

・県道行田停車場線沿線での景観形成(取組み3)

### 《JR行田駅を中心としたネットワークの形成》

公共交通の利便性向上や、広域的な幹線道路の機能強化、生活道路での安全性やユニバーサルデザインに配慮した歩行空間の確保により、対象地区内外からJR行田駅を利用しやすいネットワーク形成を行います。

#### 《取組み内容》

快適

・地域公共交通の利便性向上(取組み2)

安心安全

・ユニバーサルデザインに配慮した歩行者空間の確保(取組み2)

交流

・広域的なネットワーク形成において軸となる道路や鉄道の機能強化(取組み1-2)



図 機能配置構想